

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、別掲の項目は現行試薬の販売中止に伴い、来年1月9日より測定方法を変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内する次第です。

新法と旧法の相関は良好で、有効治療濃度の変更はございません。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

検査内容変更項目

- 別掲の一覧表をご参照下さい。

実施期日

- 平成 22 年 1 月 9 日 (土) 受付日より



検査内容変更項目一覧

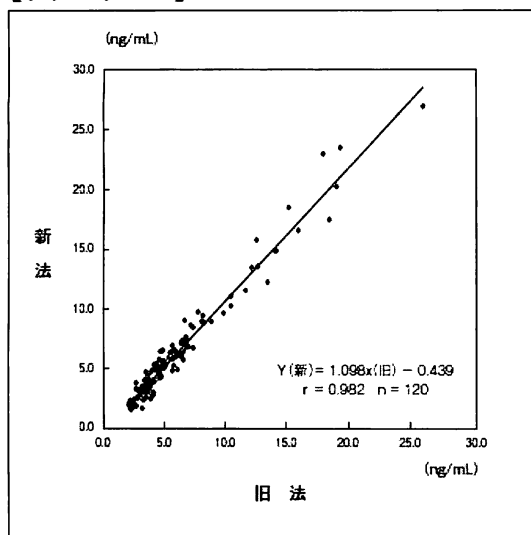
コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
1360	タクロリムス	検査方法	CLIA 法 [アボットジャパン]	MEIA [アボットジャパン]	現行試薬の 販売停止
		検体量	EDTA 加血液 1mL	EDTA 加血液 0.5mL	
		報告下限値	2.0ng/mL 未満	2.0ng/mL 以下	
1318	シクロスポリン	検査方法	CLIA 法 [アボットジャパン]	FPIA 法 [アボットジャパン]	
		検体量	EDTA 加血液 1mL	EDTA 加血液 2mL	
		報告下限値	30ng/mL 未満	25ng/mL 未満	
1305	プロカインアミド	検査方法	HEIA 法 ^{※1} [ロシュ・ダイアグノスティクス]	FPIA 法 [アボットジャパン]	
		報告下限値	0.5 μg/mL 未満	0.1 μg/mL 未満	
2256	N-アセチルプロカインアミド	検査方法	HEIA 法 ^{※1} [ロシュ・ダイアグノスティクス]	FPIA 法 [アボットジャパン]	
		報告下限値	0.8 μg/mL 未満	0.2 μg/mL 未満	
832	キニジン	検査方法	KIMS 法 ^{※2} [ロシュ・ダイアグノスティクス]	FPIA 法 [アボットジャパン]	
		報告下限値	変更無し	0.1 μg/mL 未満	
1198	トブラマイシン	検査方法	HEIA 法 ^{※1} [ロシュ・ダイアグノスティクス]	FPIA 法 [アボットジャパン]	
		報告下限値	0.3 μg/mL 未満	0.2 μg/mL 未満	
648	アミカシン	検査方法	KIMS 法 ^{※2} [ロシュ・ダイアグノスティクス]	FPIA 法 [アボットジャパン]	
		報告下限値	0.8 μg/mL 未満	0.2 μg/mL 未満	
1304	アセトアミノフェン	検査方法	酵素法 [ロシュ・ダイアグノスティクス]	FPIA 法 [アボットジャパン]	
		報告下限値	1.2 μg/mL 未満	0.7 μg/mL 未満	
647	アスピリン(サリチル酸)	検査方法	酵素法 [ロシュ・ダイアグノスティクス]	FPIA 法 [アボットジャパン]	
		報告下限値	3 μg/mL 未満	2 μg/mL 未満	

※1 HEIA :Homogeneous EIA

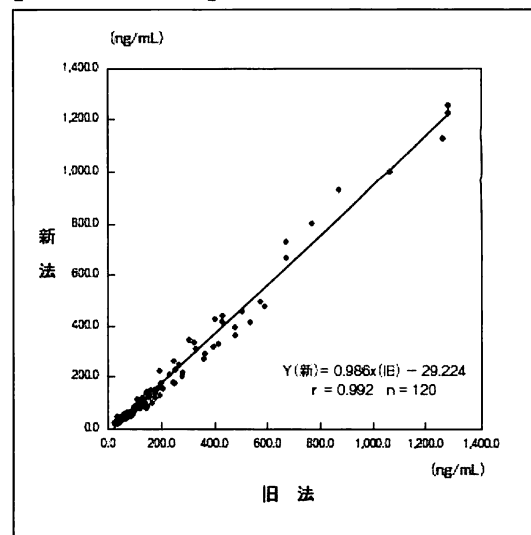
※2 KIMS :Kinetic Interaction of Microparticles in a Solution

新旧二法の相関

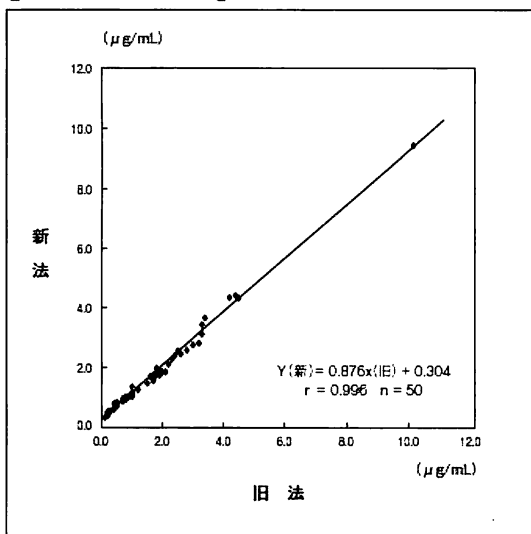
【タクロリムス】



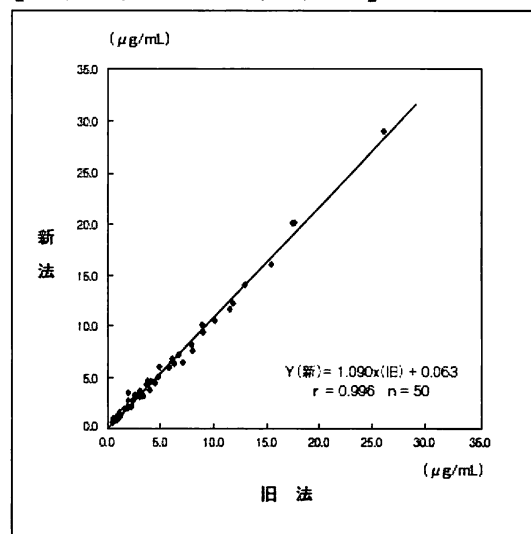
【シクロスポリン】



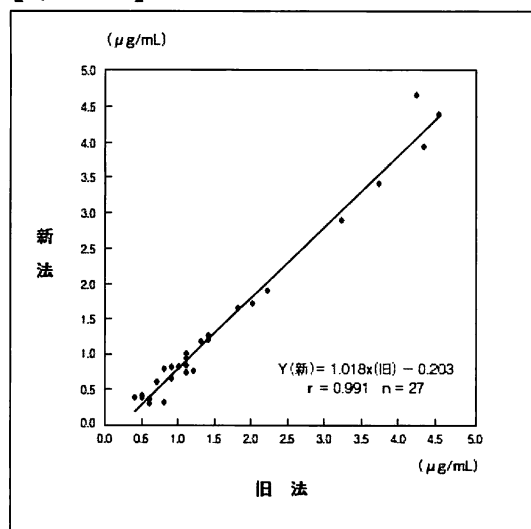
【プロカインアミド】



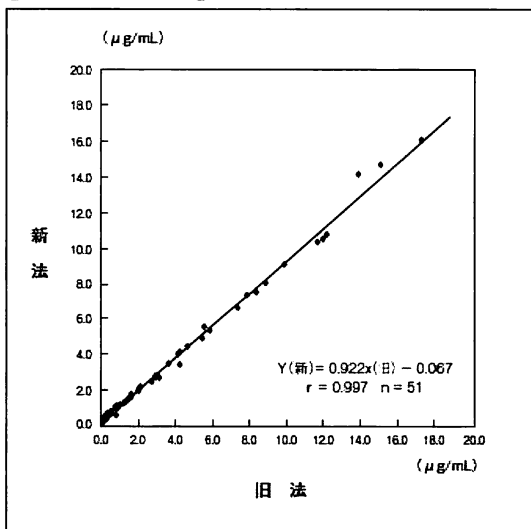
【N-アセチルプロカインアミド】



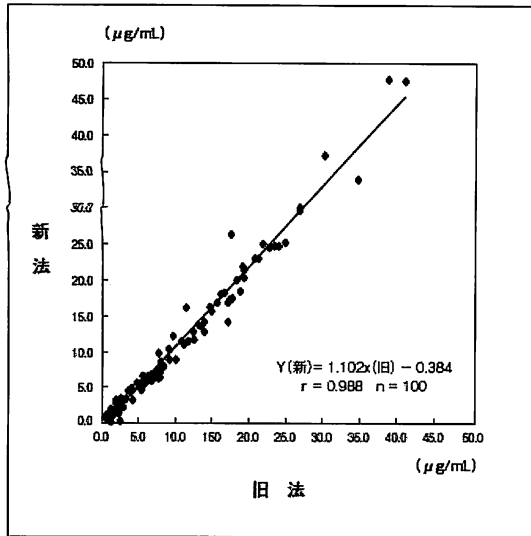
【キニジン】



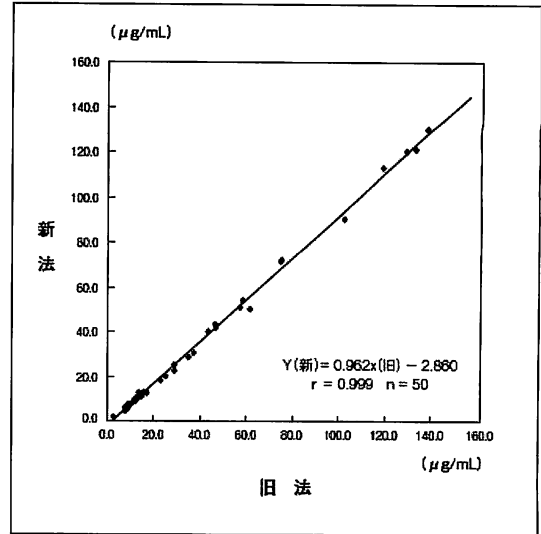
【トブラマイシン】



【アミカシン】



【アセトアミノフェン】



【アスピリン(サリチル酸)】

